

すすきのアイスワールド 2025
(第 45 回) 開催結果について

- 1 会 期 令和7年 2 月 4 日(火)～11 日(火・祝)【8日間】
2 観客数 1,022,000 人(前回比 約90%)

回 数	第 45 回	第 44 回	第 43 回	第 40 回
来場者数	1,022,000 人	1,136,000 人	924,000 人	948,000 人

参考：第 44 回開催日程 令和 6 年 2 月 4 日(日)～11 日(日・祝)
第 43 回開催日程 令和 5 年 2 月 4 日(土)～11 日(土・祝)
第 40 回開催日程 令和 2 年 2 月 4 日(火)～11 日(火・祝)

- 3 氷像数
60 基 前回：60 基

4 結果について

(1) 来場者の状況

ア 総括

今年は、会場をコロナ前(第 40 回)の南 7 条までに戻して通常開催とした。来場者数は、開催期間中の暖気・風雪により、第 44 回比約 90%でしたが、氷の水族館をはじめとして会場は大いに賑わいを見せた。

また、来場者のほとんどはネオンに輝く幻想的な氷像に魅了され、スマートフォンに収める姿が印象的であった。

氷像制作実演コーナーには、多くの来場者であふれ、完成すると歓喜と拍手が沸いており、特にハートや魚の氷像を手に取り撮影する姿が見られ長蛇の列となっていた。

イ 来場者の具体的状況

(ア) 海外(欧米、韓国、台湾及び東南アジア諸国)からの観光客、家族連れやツアー客が見られた。

(イ) ガイドブック多言語版(1,000 部)は好評で全て配布を完了した。

(ウ) 飲食店(ジンギスカン店・ラーメン店・海鮮等)は、開催時間終了後も長蛇の列が見られた。

(エ) 曜日別では、土・日・祝日の来場者が多く、雑踏事故防止のため観覧順路を一方通行とし、砂まきを随時実施して来場者の転倒事故防止を図った。

(オ) 10 日・11 日は、降雪があり、来場者はブローワーを使っての氷像雪払い作業に興味津々であった。

(2) 会場管理状況

ア 会期 2 日目に突風による氷彫刻コンクール氷像が自然倒壊したこともあり、氷彫刻会員が毎日点検、確認、メンテナンスを施し氷像の維持管理に努めた。

イ 氷像の降雪を排除する等、常に来場者の目線に立って氷像の維持管理に努めた。

ウ 特に、ふれあい広場(Dブロック)は、家族連れや外国人及び子供に人気があり、ボランティアを配置して事故防止や写真撮影の補助に努めた。